

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 2 年 8 月 21 日

公表: 令和 2 年 8 月 21 日

事業所名 クラップ 三山校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	0	
	2	職員の配置数は適切である	5	0	0	スタッフ全体で役割確認をしながら、現場が円滑に回るよう話し合いを大切にしている
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	3	1	階段の手すり等大まかな設備は整っている
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	2	0	課題が見つかった場合、スタッフ全体で対策を練り支援へ落としこんでいる。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	2	3	0	アンケートを行う時期を決め、それを実施しそれをもとに職員会議を行っていく
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	3	0	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	5	0	相談事業所のモニタリングなどを利用し、客観的な評価を貰っている
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	2	0	子どもとの向き合い方、支援についての研修を行っている
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	0	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1	0	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1	0	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1	0	その子の近況や、通所時の様子を見ながら支援方法を工夫し、取り組んでいる。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	2	3	0	平日、休日での提供時間の変更や、個別・集団の切り替えにより多様な課題に取り組んでいる
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	0	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	0	5	0	打合せ時間を設けているわけではないが、気になった場面場面でスタッフ同士で連携し対応している
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	0	3	2	その日その日通所してくる子の確認、内容把握をしている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	2	0	日々の日報を必ずつけ、支援の参考にしている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	1	0	

19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ せて支援を行っている	3	2	0	
----	--------------------------------------	---	---	---	--

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	2	2	1	児童発達管理責任者は必ず参加し、会議終了後スタッフとの情報交換を必ず行っている
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	0	5	0	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	-	-	-	現在必要な子は在籍していない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	0	3	2	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	-	-	-	現在必要な子は在籍していない
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0	5	0	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	3	2	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	5	0	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	2	0	連絡帳の活用、送迎時の報告で共通理解を行っている
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	3	0	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	0	契約時に説明をしている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	0	個々の悩みに対して、面談・電話相談を行っている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	3	0	保護者が集まって議題を決めず、子どもの話をしていき一人でかかえることのないようにしている
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	0	状況確認を迅速に行い対応している
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	0	
	35	個人情報に十分注意している	5	0	0	目につくところに書類等を置かず、厳重に保管している
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	0	それぞれ抱えている課題に対し、寄り添いながら安定した支援を目指している
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	3	0	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	0	5	0	防犯マニュアルが弱い、特にこの時期の感染症に対しては、配慮を慎重に行っている
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	0	場面や参加する子どもを変更しながら、繰り返し行っている
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	2	0	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	-	-	-	現在必要な子は在籍していない
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	-	-	-	基本お菓子等の食事の提供は原則していない
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	0	5	0	事例の作成は今後考えている